

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム愛乃郷

目標達成計画

作成日: 令和1年9月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流を通じて信頼関係構築を図る。	地区の民生委員や、近所の方と交流を図る為、外出の機会を増やし、事業所に設置しているAEDを周知したりしていく。	地域への買い物等に入居者と一緒に出掛けたり、AEDがある事を周知していき、緊急時は使える旨を貼りだすこととする。	1ヶ月
2	1	理念が、開設当時から変わっていない。新しい職員が増えているので理念を再構築する。	理念は、法令遵守にも影響があるので、職員が覚えやすい理念で作成する。	すでに職員には、理念を再構築する旨を伝えている。今月中に話し合えるように書面を渡している。職員全員で理念を考え、実行していく。	1ヶ月
3	11	職員間やユニット間での信頼関係の構築。	職員やユニット間での職員の行き来は、以前より少なくなっているが、異動も考えてはいるが、人員不足で配置異動もできないでいる。募集はかけているが集まらない。早急に人材を確保する。	職安だけではなく、人材バンクや様々な人材確保の手段を利用し、早急に人材を確保する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。